NEWS LETTER 2013.7 Vol.210

MEIKAI

明海大学
編集・発行
企画広報課

Contents

1 グローバル・スタディーズ専攻誕生！
2 2013年度オープンキャンパス開催
3 歯学部　トゥルク大学の研修生が来学
4 英米語学科　カナダ大使館員による講演
5 就職戦線を乗り切れ！ 学内企業セミナー
6 明海スポーツ（体育会空手道部、サッカー部）
7 明海スポーツ（体育会ヨット部、女子硬式庭球部）
8 陸上競技部　高橋選手 ２種目で優勝！

GSM GLOBAL STUDIES MAJOR

2014年４月 外国語学部
グローバル・スタディーズ専攻 誕生！

６月２日開催のオープンキャンパスでの説明の様子。参加者が多数押し寄せるなど、非常に高い注目を集めた。

求められるグローバル人材の育成

グローバル社会の進展とともに、企業活動はもちろんのこと、あらゆる分野の社会経済活動において、諸外国との関わりは避けては通ることのできない時代に突入した。そこで、明海大学外国語学部では、時代の要請に応じ、2014年４月からカリキュラムを再構築し、グローバル・スタディーズ専攻（以下、GSM）を新たに開設する。

GSMでは、高度な外国語運用能力に加え、諸外国・地域の文化・社会・経済・ビジネスなどの幅広い教養と、ビジネスの専門知識を備えた、現代社会が求めるグローバル人材を育成する。

GSMの教育の特色

教育の特色として、

①英語＋中国語（留学生は日本語）の２言語学修とすることで、グローバル・コミュニケーターとしての素養を身につける。

②所属学科の専門科目＋グローバル・スタディーズ関連科目を興味・関心、将来の進路に応じ学部内で横断的に学ぶことで、幅広い国際教養を身につける。

③地域研究では、日本と関係の深い諸外国・地域の文化・社会・経済・ビジネスなどを幅広く学ぶことで、国際社会で起きているさまざまな出来事をリアルタイムに理解する知識を身につける。

④海外留学、海外研修、インターンシップ、ボランティアのいずれか１つを必須とすることで、異文化や社会を実体験し、知識のみならず、グローバル社会でたくましく生き抜く術を身につける。

⑤４年一貫の少人数制必修ゼミを導入し、双方向型のアクティブな授業展開と、学修から将来の進路に至るまできめ細やかな教育を行う。

⑥学びの興味や関心、将来の進路目標に応じて専攻の変更が可能となる。

などが挙げられる。

グローバル社会に必要な国際性・国際感覚を身につけた人材が求められる中、GSMに高い期待と注目が集まる。

2013年度オープンキャンパス開催

2013年度オープンキャンパスが坂戸キャンパスと浦安キャンパスで始まった。全国各地から大勢の高校生や保護者らが来場し、各種プログラムに参加。将来の学生生活を思い描きながら、キャンパスの雰囲気を存分に楽しんでいる様子が見られた。

最新の設備を使用した体験学習

坂戸キャンパス

臨床力の高い歯科医師になるための教育システムを紹介

坂戸キャンパスでは、５月26日と６月23日に歯学部志望者を対象に開催。大学紹介では、本学の臨床力を重視した教育システムの説明に熱心に耳を傾ける高校生や保護者の姿が見られた。その後、模擬授業や体験学習が行われ、充実した歯科医療の実習設備などを実際に体験。来場者からは「臨床力の高い歯科医師になるための環境が整っていると感じた」「海外研修制度やカリキュラムが大変充実していることが良くわかった。ぜひ入学してこのキャンパスで学びたい」などの声が聞かれた。

浦安キャンパス

外国語学部、グローバル・スタディーズ専攻に注目集まる

受験生に丁寧に説明する学生スタッフ

浦安キャンパスでは、６月２日に外国語学部、経済学部、不動産学部およびホスピタリティ・ツーリズム学部志望者を対象に開催。特別企画として2014年４月に誕生する「外国語学部、グローバル・スタディーズ専攻紹介」が行われた。会場には新専攻に関心を寄せる多くの来場者が詰めかけ、注目の高さがうかがえた。参加者からは「英語と中国語の２言語を学修できることやビジネスについても専門的に学べるところに魅力を感じた」といった感想が聞かれた。

また、キャンパスツアーでは30周年記念館や開放的な学生食堂マリーンズのほか、この春、学生の就職活動を徹底的にサポートするためにリニューアルされたキャリアサポートセンターなど浦安キャンパスの充実した施設を見学した。

OPEN CAMPUS 2013

※各開催日限定の特別プログラムを実施します。

浦安キャンパス　10:30～15:00

外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部

7/14(日)・21(日)
8/3(土)・24(土)・31(土)
9/29(日)

坂戸キャンパス　10:30～16:00

歯学部

7/21(日)
8/25(日)
9/1(日)

お問い合わせ／企画広報課
TEL：047-355-1101
詳しくはこちらから↓
http://www.meikai.ac.jp

歯学部交換研修プログラム

トゥルク大学の研修生が来学

本学歯学部は国際的な歯科医師を育成することを目的として、費用全額大学負担の海外研修制度を設けるとともに、海外の各国姉妹校から、交換研修生の受け入れも行っている。

６月３日から６日にかけて、フィンランドのトゥルク大学から研修生２人とインストラクター２人が来学。研修生らは、付属病院などの施設見学を行うとともに、本学歯学部の教育の特色、日本での歯科治療法などの説明について熱心に耳を傾けていた。研修期間中は、昨年の８月にトゥルク大学への海外研修に参加した本学学生らが中心となり世話役を務めるなど、学生同士の交流も活発になされた。引率をしたトゥルク大学のカイス准教授は「明海大学のカリキュラムや講義・実習内容など、本学の参考となる点が多くあった。今後も相互に協力し合い、さらに交流を深めていきたい」と話した。

来学したトゥルク大学の研修生ら

深まる国際交流　フィジー共和国の学生が来訪

6月14日、外務省が主催するJENESYS2.0（アジア大洋州諸国及び地域間での青少年交流事業）の一環として、フィジー共和国の学生19人が浦安キャンパスを訪れた。

安井利一学長のあいさつの後、明海大学の教育システムや留学生サポート制度について説明すると多くの質問が飛び交うなど、異文化交流に高い関心を寄せていることがうかがえた。その後、学内見学や岩下哲典ホスピタリティ・ツーリズム学部教授の講義を受講し、在学生と交流する場面も見られ、双方にとって有意義な交流となった。

安井学長（中央）とフィジーの学生

講演するカナダ大使館員のシュローダー氏

英米語学科特別講義 カナダ大使館員による講演

英米語学科主催の特別講義が６月５日、浦安キャンパスで実施され、カナダ大使館広報部広報・教育プロモーション担当官のアラン・シュローダー氏が“Canada—The Key to your Future”というテーマで英語による講演を行った。

シュローダー氏は、カナダの文化や産業について、クイズ形式の質問なども織り交ぜながら紹介した後、日本とカナダの関係について触れ、「互いに主要な貿易相手国であるなど、カナダと日本は非常に深い関係にある。この講演を機にみなさんにもカナダに興味を持ってもらいたい」と語った。

出席した学生からは、「カナダについての知識を深めることができる絶好の機会となった」「カナダという国に興味が湧いた。ぜひ行ってみたい」などの声が聞かれ、本講演の内容にとても満足した様子がうかがえた。

ホスピタリティ・ツーリズム学部 社長講座 ジェイティービー社長らが講演

ホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部では、企業が求める人材を育成することを目的に、実践教育に力を入れている。

HT学部の授業科目「特別講義Ⅰ（通称：社長講座）」では、日本のHT業界を代表する企業の経営トップを招き、オムニバス形式で業界の動向や仕事に対する心構えなどを学ぶ。５月から６月にかけても、多様な講師の方々を招き講義を行った。

㈱ジェイティービーの田川博己代表取締役社長は、「国際観光の現状とツーリズム産業の今後の課題」と題した講義を行い、旅行者数の推移を分析したうえで「今後は欧州だけでなく、アジア各国の需要を見極めることが大切」と説明し、ＨＴ産業の動向について語った。また、講義終了後には在学生とコミュニケーションを取り記念写真を撮影するなど、ＨＴ業界を目指す学生を激励した。

＜5月から6月にかけて行われた主な社長講座＞

日程	講師（敬称略）	企業名・役職名
5月9日	田川　博己	㈱ジェイティービー　代表取締役社長 HT学部客員教授
5月23日	二宮　秀生	㈱ジャルパック　代表取締役社長
5月30日	清水　謙	㈱WDI　代表取締役
6月13日	梶　明彦	㈱目黒雅叙園　代表取締役社長

在学生に囲まれて記念写真をとる田川氏（中央）

就職戦線を乗り切れ！ 学内企業セミナー 採用意欲高い150社招く

４年生を対象とした学内企業セミナーが５月と６月の計５日間、浦安キャンパスで開催され、明治安田生命保険やトヨタカローラ千葉、住友不動産販売をはじめ、金融や商社、メーカー、サービス、不動産など幅広い業種から約150社が参加した。学内企業セミナーは、さまざまな業界・業種の企業が学内にブースを設置し、企業の採用担当者から学生に事業内容や採用情報などを提供する場で、毎年ここでの出会いをきっかけに内定を勝ちとった学生が多数いる。今年も多くの学生たちが積極的に企業のブースを訪れ、人事担当者の話を熱心に聞いていた。

学生からは、「採用担当者との距離が近く、顔を覚えてもらう絶好の機会となった。このチャンスを生かし、内定を勝ち取りたい」といった声が聞かれた。

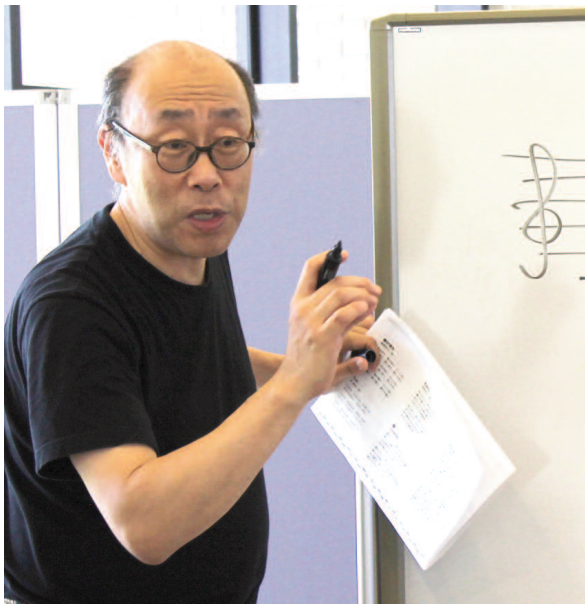
全国的に厳しい就職活動の現状を踏まえ、内苑孝美キャリアサポートセンター長は、「本学では今年の春から新キャリア教育をスタートさせ、早い段階から就業意識や職業観を養い、卒業後の進路を見据えた４年間継続するキャリア教育を行っている。教職員が一体となって企業との連携をさらに強化し、就職活動に挑む学生たちを支援していく」と語った。

採用担当者の話を熱心に聞く学生

日本語学科 日本語対照研究

マルチアーティストの青島広志氏らが講演

日本語学科の授業科目「日本語対照研究」では、言葉と文化からアジア共同体の創成を考えることを目的に、毎回各分野の専門家を招き、オムニバス形式で講義を行っている。５月22日には国立遺伝学研究所の斎藤成也教授が「DNA解析―日本のGm遺伝子を探る―」と題し、さらに６月５日にはマルチアーティストの青島広志氏が「音楽から見るアジアと日本、そして世界」と題して講義を行った。



講義する青島氏

講義の中で青島氏は自らピアノを演奏し、テノール歌手の小野つとむ氏が学生とともに『春が来た』や『海』などの唱歌を歌うなど、和やかな雰囲気の中で講義は行われた。青島氏は日本音楽の音階の特徴や伴奏の歴史について、実演を交えながら説明し、「日本の音楽はイギリスと共通するところがある。また、ヨーロッパやアメリカからも影響を受けており、アジア諸国ともつながりがある。歌を深く知ることで、音楽には普遍性と個別性があることがよく分かる」と語った。

出席した学生からは、「小さいころから知っている歌に世界とのつながりがあるとは知らなかった。音楽の奥深さを感じた」という声が聞かれた。

明海スポーツ MEIKAI SPORTS 体育会が大躍進！

体育会公式ホームページ　http://meikai-sports.jp

今年度から女子硬式庭球部が加入し、空手道部、ヨット部、サッカー部、あわせて4団体となった体育会。それぞれの部が掲げる目標に向けて始動し、伝統校や強豪校と称されるチームと熱い戦いを繰り広げている。ここで各部のこれまでの大会戦績を紹介する。

体育会空手道部

創部以来の快挙！東日本3位

５月26日に愛知県体育館で開催された第49回東日本大学空手道選手権大会において、体育会空手道部創部以来の快挙となる男子団体組手３位入賞を達成した。また、女子団体組手も３回戦まで進出し、ベスト16と健闘した。

男子団体組手は１回戦シードのため２回戦の一橋大学戦から幕を開け、５戦全勝の好スタートを切る。続く３回戦も危なげなく勝利し、４回戦で強豪、拓殖大学と対戦。２勝２敗で迎えた大将戦で、部の期待を一身に背負った中井将平選手（経済学科４年）が見事勝利をおさめた。

準決勝・帝京大学戦でも、優勝候補筆頭を相手に互角の戦いをみせたが、あと一歩及ばず敗れた。

上妻優介監督は「伝統のある強豪大学相手に引けを取らない勝負ができたことは大きな収穫です。11月の全日本学生空手道選手権大会に向けての課題も見つかったので、さらに練習に励み、上を目指したい」と語った。

体育会空手道部

遠山大輔選手が快進撃 全日本個人3位！

６月30日、日本武道館で行われた第57回全日本学生空手道選手権大会・東西対抗戦において、遠山大輔選手（経済学部２年）が、男子個人組手で本学初となる３位入賞の快挙を成し遂げた。

準決勝では、遠山選手の兄で帝京大学に所属する遠山将平選手と対戦し、惜しくも敗れたものの、日本一を決める大舞台での兄弟対決に会場は大いに沸いた。

快進撃をみせた遠山選手

体育会サッカー部

関東大会ベスト16！ 関東リーグ１部上位校に快勝

５月19日に開催された千葉県大学サッカー選手権大会兼総理大臣杯千葉県代表決定戦決勝で中央学院大学を１-０で下し、本学体育会サッカー部が2連覇を達成した。これにより千葉県第一代表として第37回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント関東代表決定戦予備予選（以下、予備予選）への出場を決め、５月25日に行われた予備予選では、埼玉大学と対戦し、４-２で勝利。第２回関東大学サッカートーナメント大会（以下、関東大会）への切符を手に入れた。

関東大会初戦では桐蔭横浜大学と対戦。関東リーグ１部５位の強豪校相手に終始落ち着いたプレーを披露し、２-０で完封してみせた。勢いそのままに２回戦・東京国際大学を迎え、関東リーグ２部で首位のチーム相手に互角の戦いを繰り広げたが、最後は一歩及ばず２-３で敗れ、関東大会ベスト16となった。

八津川義廣監督は「選手、監督全員が一丸となり全国大会を目指していただけに、この結果は悔しさが残りますが、気持ちを切り替えて千葉県大学リーグ奪還に全力を注ぐつもりです。そして、11月に行われる関東昇格決定戦で必ず関東リーグ2部に昇格します」と語り、悲願達成への熱意をのぞかせた。

体育会サッカー部

体育会ヨット部

強豪校と互角のレース展開

5月25日、26日に江の島ヨットハーバーで、第1回関東470級協会フリートレース兼第1回江ノ島スナイプ級選手権大会が開催された。470級には、オリンピック特別強化選手8艇、ロンドンオリンピック出場選手1艇を含む53艇が出場するハイレベルな戦いとなったが、鈴木祐哉選手（経済学科1年）、後藤龍佑選手（経済学科3年）ペアが6位に食い込み、ほか3艇も15位以内に入る大健闘をみせた。

また、スナイプ級でも伊東雄基選手（経済学科4年）、矢萩健生選手（経済学科4年）ペアが、世界選手権派遣チームや強豪大学相手に互角のレースを展開し、13位（学生チーム中3位）に、田上歩（経済学科4年）、有銘一子（日本語学科4年）ペアが女子チーム2位に入った。これにより470、スナイプ両級での関東選手権大会の出場権を獲得した。

國府田由隆監督は「成績や実績では格上の相手でも、実力では負けていないことを証明できた。選手たちには、自分たちの成長を実感し、さらにワンランク上の課題を発見してほしい」と語り、さらに上を目指す意欲をみせた。

体育会ヨット部

体育会新加入団体

女子硬式庭球部

今年度から新たに体育会に加入した女子硬式庭球部。新監督に就任した土屋哲史監督に部としての目標と抱負を伺った。

当面の目標として、関東大学テニスリーグ5部で優勝し、リーグ4部に昇格すること。もちろん、最終目標は1部リーグ昇格だが、そのためには多くの課題をクリアしなくてはならない。テニスの技術も大事だが、それ以前にスポーツ選手として正しい食生活を心がけ、ウォーミングアップとクールダウンを念入りに行う必要がある。体育会の一員となった以上は、基礎体力づくりを完璧にして常に最高のパフォーマンスを見せなくてはならない。

そういった面でスポーツ選手としての意識改革を行うが、だからといって学業を疎かにしてはならないので、限られた時間の中で最も有効な時間の使い方を身につけてほしい。部の躍進と部員の人間的成長を目標に指導していきたい。

体育会女子硬式庭球部（後列右：土屋監督）

陸上競技部 高橋選手 ２種目で優勝！

浦安キャンパス陸上競技部の高橋佳奈江選手（英米語学科１年）が、６月８日、９日に開催された第24回日本身体障害者陸上競技選手権大会の女子100m、200mの部に出場し、見事２種目とも優勝を果たした。

高橋選手は視覚に障害があるにも関わらず、自分の力だけで走りたいとの強い意志から自走を決意。ガイドランナー（伴走）をつけたほうが速いタイムが出ると言われている中で、優勝のみならず200mでは自己ベストを１秒以上も更新した。

川幡俊行監督は「本人の希望もあり特別扱いはせず、ほかの部員と同じ練習を行っています。男女を問わずスピードの速い選手とともに練習することで、本人の記録も大きく伸びています。また、それがほかの部員にも良い刺激となっており、部の活性化にもつながっています」と話し、高橋選手も「川幡監督という素晴らしい指導者や親切な先輩や仲間たち、そして恵まれた環境でトレーニングができ、明海大学陸上競技部に入って本当に良かったです」と返すなど、信頼関係も抜群。

高橋選手は今後の目標として、日本記録タイムの更新、そして2016年リオデジャネイロで開催されるパラリンピックへの出場を掲げている。今後の活躍に大いに期待したい。

優勝した高橋選手

新入外国人留学生ウエルカムパーティ

今年度、新たに入学した外国人留学生のウエルカムパーティが、５月23日、浦安キャンパスで開催され、新入留学生や在学生をはじめ、教職員、浦安市国際交流協会（UIFA）の方などが、多数参加した。

パーティは、佐々木康史副学長のあいさつから始まり、参加した新入留学生らは歓談に興じたり、記念写真を撮るなど存分に楽しんでいた。また、式の後半では、くじ引きによる抽選会も行われ、当選者発表のたびに歓声があがるなど、大いに盛り上がった。

笑顔の新入外国人留学生

経済学部に在籍する中国からの新入留学生、賀枚鳳（ガ マイホウ）さんは、「先輩や先生たちと交流ができてとても楽しいです。経済学をしっかり学んで、将来は起業したいです」と話した。

「2012年度事業報告及び決算」については、大学公式ホームページをご覧ください。

お知らせ

Meikai News Letter は年４回（１月、４月、７月、10月）、明海大学公式ホームページ上で公開いたします。

最新のニュース等は、明海大学公式 facebook ページを中心に発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

facebook 明海大学公式ページ
http://www.facebook.com/meikai.univ

MEIKAI NEWS LETTER vol.210　発行日：2013年7月1日　編集発行／明海大学企画広報課
〒279-8550　千葉県浦安市明海１丁目　TEL：047-355-1101　URL:http://www.meikai.ac.jp
本学公式HPからバックナンバーもご覧いただけます。